

令和元年 8 月期

横浜市感染症発生動向調査委員会報告

令和元年 8 月 29 日
横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課
TEL045(370)9237
横浜市健康福祉局健康安全課
TEL045(671)2463

《今月のピックアップ》

- 腸管出血性大腸菌感染症が多く報告されています。
- 風しんの報告数が多い状態が続いています。
- RS ウイルス感染症の報告数が多い状態が続いています。
- 手足口病の流行警報が発令されています。

全数把握の対象

【8 月期に報告された全数把握疾患】

腸管出血性大腸菌感染症	14 件	後天性免疫不全症候群(HIV 感染症含む)	4 件
腸チフス	1 件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 件
E 型肝炎	2 件	侵襲性肺炎球菌感染症	3 件
デング熱	1 件	水痘(入院例に限る)	1 件
レジオネラ症	6 件	梅毒	10 件
アメーバ赤痢	4 件	播種性クリプトコックス症	1 件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	7 件	百日咳	14 件
クロイツフェルト・ヤコブ病	2 件	風しん	4 件
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 件		

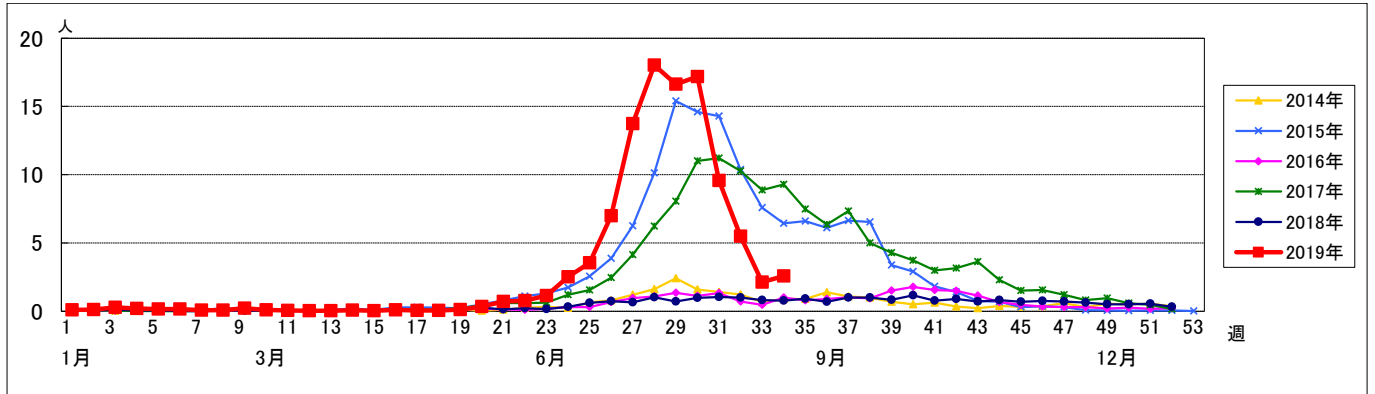
- 1 腸管出血性大腸菌感染症: O157 が 10 件、O103 が 1 件、O111 が 1 件、O121 が 1 件(無症状病原体保有者)、O 不明が 1 件(無症状病原体保有者)ありました。
- 2 腸チフス: シンガポールでの経口感染と推定される報告が 1 件ありました。
- 3 E型肝炎: 経口感染と推定される報告が 1 件、感染経路不明の報告が 1 件ありました。
- 4 デング熱: フィリピンからの蚊からの感染と推定される報告が 1 件ありました。
- 5 レジオネラ症: 肺炎型 5 件、無症状病原体保有者 1 件の報告があり、感染経路等不明でした。
- 6 アメーバ赤痢: 腸管アメーバ症の報告が 3 件、腸管外アメーバ症の報告が 1 件ありました。感染経路は国内での性的接触が 2 件(異性間 1 件、詳細不明 1 件)、経口感染(推定)が 1 件、不明が 1 件でした。
- 7 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症: 7 件の報告があり、感染経路等不明でした。
- 8 クロイツフェルト・ヤコブ病: 古典型 CJD の報告が 2 件ありました。
- 9 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: G 群の報告が 1 件ありました。
- 10 後天性免疫不全症候群(HIV 感染症含む): AIDS が 2 件、無症状病原体保有者が 1 件、その他が 1 件で、男性 3 件、女性 1 件でした。感染経路は、国内の性的接触が 2 件(同性間 1 件、異性間 1 件)、母子感染が 1 件、不明が 1 件でした。
- 11 侵襲性インフルエンザ菌感染症: 80 歳代の報告が 1 件ありました。
- 12 水痘(入院例に限る): 30 歳代の臨床診断例の報告が 1 件(ワクチン接種不明)ありました。
- 13 侵襲性肺炎球菌感染症: 80 歳以上の報告が 3 件(ワクチン接種なし 2 件、不明 1 件)ありました。
- 14 梅毒: 10 件の報告(無症状病原体保有者 6 件、早期顕症梅毒 I 期 2 件、早期顕症梅毒 II 期 1 件、晩期顕症梅毒 1 件)がありました。感染地域は国内 7 件、不明 3 件で、感染経路は性的接触が 8 件(異性間 5 件、同性間 1 件、詳細不明 2 件)、不明 2 件でした。性別は男性 7 件、女性 3 件でした。
- 15 播種性クリプトコックス症: 80 歳代の感染経路不明の報告が 1 件ありました。
- 16 百日咳: 10 歳未満が 5 件(ワクチン接種あり 3 件、不明 2 件)、10 歳代が 1 件(ワクチン接種あり)、20 歳代が 2 件(いずれもワクチン接種不明)、30 歳代が 1 件(ワクチン接種不明)、40 歳代が 3 件(いずれもワクチン接種不明)、60 歳代が 1 件(ワクチン接種なし)、70 歳代が 1 件(ワクチン接種不明)の報告がありました。
- 17 風しん: 検査診断例 4 件が報告されています。20 歳代 1 件(ワクチン接種不明、男性)、30 歳代 1 件(ワクチン接種不明、女性)、40 歳代 2 件(いずれもワクチン接種不明、男性)でした。

令和元年 週一月日対照表

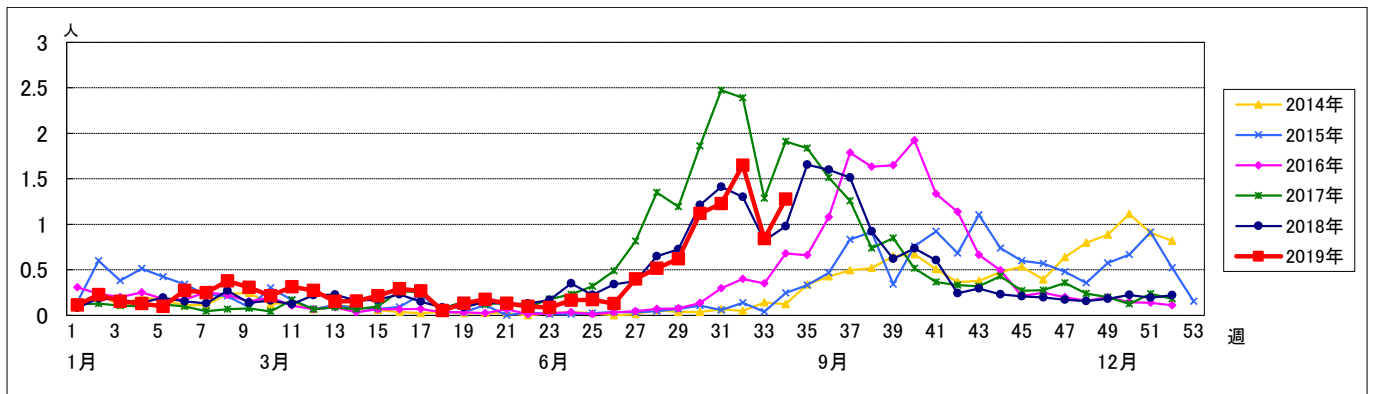
第30週	7月22日 ~ 28日
第31週	29日 ~ 8月4日
第32週	8月5日 ~ 11日
第33週	12日 ~ 18日
第34週	19日 ~ 25日

定点把握の対象

- 1 手足口病:2019年は0.05から0.10で推移していましたが、第20週にて定点あたり0.35と増加を開始し、第26週にて6.98で流行警報発令基準値(5.00)を上回りました。第28週で18.01にて最大値となり、第34週は2.57となっています。今年も過去に流行した2017年、2015年の同時期を大きく上回って推移していましたが、第31週以降は下回って推移しています。流行警報は、依然として継続しています(警報解除基準:2.00)。



- 2 RSウイルス感染症:第27週にて定点あたり0.40と増加し、第32週で1.65にて最大値となり、第34週は1.28となっています。



3 性感染症:7月

性器クラミジア感染症	男性:29件	女性:23件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:6件	女性:6件
尖圭コンジローマ	男性:9件	女性:1件	淋菌感染症	男性:17件	女性:2件

4 基幹定点週報:

	第30週	第31週	第32週	第33週	第34週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.50	0.00	0.00	0.33	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

5 基幹定点月報:7月

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件		

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。
 横浜市衛生研究所ホームページ URL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/eiken/>